

=====
コロナ禍における沖縄文化芸能の現状調査アンケート
=====

コロナ禍の沖縄における文化芸能活動について、いま不満・不安に思っていることや困っていること、今後行政や社会に期待することなど、どんな内容でもかまいませんので、ご自由にお書きください。

●パフォーマー（県内在住）

※ジャンルについて

- ・琉球古典、民謡、島唄ポップスなど沖縄系の音楽⇒沖縄音楽
- ・ロック、ポップス、ラテン、ジャズ、クラシックなど沖縄系以外の音楽⇒音楽
- ・組踊や琉舞の立方、エイサーなど⇒沖縄芸能

- ・沖縄は文化芸能立県だと思っていましたが、昨年の行政の動きを見ていると、芸能分野へのサポート立ち上げが遅く、他府県と比べてもその辺りの思いは実は特に強いわけではないのかもと感じました。いま沖縄は文化芸能業界全体が死にかけていますので、長期的な視野での施策を検討いただけたらありがたいです。（50代/兼業/音楽）

- ・いっぱいありすぎて……。 （40代/専業/沖縄音楽）

- ・ここまで新型コロナが多岐にわたる変異をしてくると、ライブどころではない恐怖を感じています。（40代/別に本業あり/音楽）

- ・「過去」の就任挨拶でも年頭挨拶でも「沖縄で生まれた文化を、芸能を、世界へ向けてもっともっと発信したい」「芸能などの文化財を活用した取組や、観光振興等に取り組んでいくことが、益々重要となる」って言ってた沖縄県知事デニーさん。「今」では、国も県も、世の中飲食店しかないと思ってるのかな？「芸能の島」はいつから「居酒屋の島」になったのか…とかなんとか、思うことは山程です。飲食店だけに偏った協力金には、デニーさんの「過去」の挨拶の真意を疑うばかりです。（30代/専業/沖縄芸能）

- ・スタジオを持っている人、音や映像や編集の技術を持つ人と、パフォーマーを繋げて、コンテンツとして発信できる仕組みを作れたら良いと思う。今、一人一人でやっていることを集中して分業したら、楽になることがあるのでは。まとめるの大変そうですが。（50代/専業/沖縄音楽）

- ・ライブ等演奏の機会がなく、仕方がない、しょうがないと思ってる自分に苛立つ。パフォーマー側だけでは何にもできないので、やはり国民一人ひとり社会全体への支援や助が必要。政治での格差と隔たりのないバックアップを期待。（50代/別に本業あり/音楽）

- ・最適解はやはり模索中という感じなのでなんともいえないが、補助等についての情報にアクセスしづらいのは問題と感じる。（40代/別に本業あり/音楽）

- ・日本は残念ながら他の国々より文化芸術を蔑ろにする事がわかった。助成金に頼らず市井の力で文化芸術を守り、発展させていく方法を模索していかなくてはならない。こどもたちが夢を持ち続けていられるような土壌をつくりたい。(40代/別に本業あり/アート)
- ・文化芸能活動はこの時だからこそ、止めるべきではなく、むしろ、広く色々な人に届けるべきだと考えます。行政はストップするだけでなく、罹患リスク、対外的な心理恐怖リスクを取り除くやり方、参加の仕方をちゃんと行い、その状況をきちんと知らせるといふ事が必要かと思えます。コロナ禍で生活や社会様式が変わったので、表現活動もそれに合わせて変化してはいますが、私たちはこの時代を進む事しかできないので、ネガティブに考えず、「出来なくなった」ではなく、「コロナ禍のおかげ(?)でこんな表現ができた」「こんな制約があったからこんな素敵な考えが生まれた」等、あとになって考えたらよくなった事が増えた、とかになれば良いなと思えます。(50代/別に本業あり/アート)
- ・エビデンスもないまま、大都会の真似をして飲食、ライブハウスの時短要請。要請に従ったお店には何かしらお金が支払われても、ミュージシャンには補助が無い。県に期待するのは、文化振興課の人事を一新して、沖縄の文化を本気に考えるスタッフにしてもらいたい。ミュージシャンは県の宝だという意識を持って、サポート体制を取ってもらいたい。有能なミュージシャンが、生活のため別の仕事についているのは県の文化の損失だということを認識して欲しい。(50代/専業/音楽)
- ・コロナ以前から硬直化してると思うので、コロナ関係なしにもっとエンタメを広げる方法を考える必要があると思えます。(40代/専業/音楽)
- ・公的な支援のフェアな行き渡りを望む一方で、どんなに困難な状況でも自らの生き方に責任を追って経済的精神的に自力していくべきとも思う。多くの理不尽な御不幸に手を合わせながら、芸に精進出来ること自体に感謝して「絵画を造る生き方」を続けたい。(50代/副業あり/アート)
- ・お世話になっているライブハウスやお店が無くなってしまふ事が無いように、芸術活動で生計を立てている人々が活動を継続できるように、もっと国が補償や援助を行うべき。(40代/別に本業あり/音楽)
- ・文化芸術、芸能の島、というニュアンスをよく使う県政、今回のコロナで文化芸術、芸能は大事なものではないとはっきりと言ってる様に見えます。残念ではない。(40代/専業/音楽)
- ・劇場やライブハウスで安心して活動できるようになるまで、もうしばらくかかりそうです。沖縄が観光と芸能の島であるにもかかわらず、この状況では生活の為に芸能活動を辞めざるを得ない人がますます増えていきます。せめてワクチン接種が全ての年代に行き渡る(来年春頃)まで、県も芸能に携わる人に対する何らかの形の支援を継続していく必要があると思えます。(50代/専業/音楽)

- ・補助金事業が減っていることが苦しいです。あっても少し仕組みが以前よりも複雑かなとは思いますが。（30代/副業あり/音楽）
- ・沖縄は観光で成り立っていると言ってる割には、補助金にしても支援金にしても、申請が厳し過ぎるのが悩みです。活動証拠があれば、どんな演奏者も助けて欲しい。（40代/専業/沖縄音楽）
- ・沖縄は観光立県。文化芸能も大事な位置付け、支援を分かりやすくして欲しい。（50代/副業あり/洋楽・沖縄音楽）
- ・そもそも沖縄では、全国的にみても、生業として成立している「文化芸能活動」の専業者の絶対数が少なかったという事実を忘れないでほしい。「文化芸能活動」を容易に生業と結びつけて捉えるのは、本質的な問題を見ていないに等しい。（40代/専業/音楽）
- ・色々なジャンルのアーティストのインスピレーションを保ったり、復活させるための企画（例えばソングライティングキャンプなど）ができれば、心にも体にも、これからのアートの未来にも、とても面白い事になると思います。アメリカ在住の友達や彼らの家族がコロナで結構亡くなっていたりしますが、今この命があるのはギフトだと信じて、少しツイストをかけながら前に進める事に集中していきたいです。ワクチンの接種が進めば、アメリカの様に前向きにコンサート、ライブ、演劇などの開催に向けて色々楽しみにできる日が来るのでしょうか！ 生きるために必要なものはいくつかありますが、アートは自分も今でも救ってくれるので、沖縄県、そして国が素晴らしいアートを作ってくれるアーティストをもっともっと大切にしてくれるのであれば、子供から大人までみんなにとっていい環境になると思います。沖縄の観光を大事にできているように、芸術に同じくらいのサポートがあれば、さらに沖縄の未来は明るくなるのは間違いのないし、沖縄の観光振興にも繋がると思います。（/専業/洋楽・舞台）
- ・自営業者としての不満になるかもしれませんが、収入が減っていて先が不透明な状況下で社会保険料の値上げがあったり、給付金対象のハードルがより狭い範囲に設定されていたりと、生活が食うか食わぬかのギリギリになるまでお金を出さない姿勢には腹が立っています。また、他県になりますが、愛知県立美術館などは緊急事態宣言下でも開館していたと伺っています。県立博物館美術館の普段の人出を考えたら一律に閉館にする必要はないと思います。スポーツイベントに対する程度の柔軟さを文化・芸術活動、施設にも持ってほしいと思います。（40代/専業/アート）
- ・なにも期待できない。まずは街や社会、公共とは何かを全員が見直す機会が必要かと思う。戦後、伝統、経済、観光などのコンテキストだけの社会ではない。（30代/副業あり/アート）
- ・みんな厳しいので、どうにかして自分たちで必死に生きていかなければなりません、やはり少しでも行政側から手を差し伸べてもらわないと、生活が困窮してしまいます。そして、これまでの生活スタイルをあきらめ、芸能の優先順位をかなり下げないといけなくなります。いえ、なりました。これくらいで沖縄の芸能が廃れることはないと思いますが、芸能で身を立てたいという後輩たちの夢がなくなったかもしれないという気はします。（40代/副業あり/音楽・沖縄音楽）

- ・2002年に台湾政府が掲げた「文化創意産業（文創）」政策のような取り組みを持って、沖縄もアートを観光のコンテンツや、文化・経済の一つの柱にすべく育成することが必要だと思います。（40代/専業/アート）
- ・不満や不安ばかりですが、今後もっと世界が変わると思います。まずは自分を見失わないように。偏った考え方だと思いますが、私は配信ライブはキライです。生の音楽を聞けば聞くほど、そう感じます。（40代/専業/音楽）
- ・Covid-19は人工的に作られたものではないか、とか、ワクチンは本当に安全なのか、釈然としないし、調査を拒んだり情報開示されない点が不満。（50代/副業あり/音楽）
- ・緊急事態宣言下で、自己練習やメディア以外からの音に、空気で触れる機会が減ったことにより、ライブ演奏などの文化的な感性に響く環境は、重要だと改めて感じます。外界との接触が図れる機会が減り、精神的にも抜け道のない世界へ入っていきやすい。この環境は、精神や身体に、コロナウィルスとは別の悪影響を及ぼします。生きる活力は人それぞれですが、少なからず、人は文化的な活動やそれによる恩恵を受けていることを思い出し、社会全体で、形のないものを蔑ろにしない体勢そのものを、認識し直したいものです。飲食と密接な環境でのパフォーマンスに対して、頭ごなしに全てをウィルス拡散の温床と決めつけるべきではなく、店の形態別に対策を考える事も必要かと思います。度重なる経済循環の停止をするのであれば、密を避けるなら、止めるべきは本土も沖縄も公共の交通機関等も該当すると思います。（非公表/専業/音楽）
- ・行政の動きなどに一喜一憂していると滅入ってしまうので、基本的には日頃仕方ないと思うようにしている部分はあります。ただ、特に演者として芸能一本を替えのきかない柱にして生活していた方で全く収入がなくなった場合、今どうやって生活しているのだろうと思うと恐ろしいです。休業要請を出されて従ったら手当がもらえる、というようなものでもないし、そういう演者、食うや食わずになっている演者、芸能人に向けた、具体的な状況を想定した生活費の支援やプログラムがもっとあっていいのではないかと考えています。（30代/副業あり/音楽）
- ・もともと文化芸能、芸術活動についての理解、助成が少ない日本。コロナ禍をきっかけに、今一度その必要性を考え、文化行政の充実を図る必要があるかと思っています。（50代/副業あり/アート）
- ・ライブハウスや演奏のできるお店や劇場など、パフォーマンスを表現できる場所が閉店しないように十分な資金援助をして欲しい。（50代/別に本業あり/音楽）
- ・申請など、わかりやすいシステムにして頂きたい。音楽家がお金や申請、個人経営者としてなど、学べる勉強会や相談窓口があると良いかと思っています。（40代/副業あり/音楽）
- ・支援金や給付金の案内を広く行なうとともに、申請手続き会場やスタッフの増強を行なってほしい。（30代/専業/沖縄音楽）

- ・沖縄は観光で成り立っていて、そこには芸能も欠かせません。コロナ改善後は、どんどんイベントなどを活性化してもらいたいです。（40代/副業あり/音楽）
- ・沖縄県や行政が出してる文化芸能者に対する支援金対策は難し過ぎるし、ヒド過ぎる。オフィシャルページや活動履歴などを見て頂いて、もっとやりやすい支援金対策をして欲しい。（40代/専業/洋楽・沖縄音楽）
- ・コロナに関係なく音楽はいつもそこにあるので、今はやれる事をやるしかない、とは思っています。収入が音楽活動だけの方は本当に大変だと思うので、何かしら国の支援が必要かと思っています。昔は、仕事をやりながら歌を歌う人の事を「うたさー（唄者）」と言っていたので、自分は仕事をしながら音楽をやるということはスタンダード。ライブが出来ないのはさみしいですが、何か良い方法があればそれを模索して行きたいと思います。（50代/別に本業あり/音楽）
- ・文化的な活動に対する行政や社会の関心や補助が、あまりにも低過ぎると感じております。（50代/専業/音楽）
- ・伝統文化を絶やさない為に、育成支援、イベント等に力を入れ、長い目で見て頂きたい。（40代/副業あり/沖縄音楽）
- ・沖縄の芸能や文化を後世に残すためにも、みんなに活動の場を与えてほしい。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・私は幸いにも文化芸能活動以外にも収入があり、今回のコロナ禍でも大きく生活のレベルが落ちることはなかったが、文化芸能活動からの収入を主な生活の柱としている方々は大変な苦難を強いられたと思う。そこで例えば、県指定の技能保持者とか、県が定める一定の要件を満たしている者に対し、常日頃から給料でいう基本給的な給付をしてそれらの人たちの生活を支え、文化芸能の継承を図っていく必要があるのではないか。（60代/別に本業あり/沖縄音楽）
- ・現在、演奏施設はライブハウスのみならず、バーやカフェなど多岐に分布される。店舗によっては協力金給付までの店舗維持に苦戦している例も見受けられる。場所があつての表現活動なので、店舗存続のために補償内容の拡充に努めていただきたい。（30代/別に本業あり/音楽）
- ・密を避けるため、三線の稽古も少人数やりモートになり、「目習れ、聞き習れ」の文化、対人関係があつてこそその協調性を、学ぶ場が減る事が本当に怖いです。（20代/別に本業あり/沖縄音楽）
- ・沖縄のウェディング業界の名プランナー、ベテランフロアキャプテンが解雇され、確実に沖縄全体のレベルが下がるのが予想されます。沖縄旅行の中でも単価が高いと言われてる県外からのウェディングが、果たしてこの先どうなるのか、不安です。（40代/専業/司会）

- ・コロナ禍で問題点として浮き彫りになってきた点に関しては、コロナ禍以前から同じ問題は実はずっとあって、それが表面化したに過ぎないと思っています。コロナ禍がきっかけでの公的な芸術助成金制度に関しては、コロナ禍以降（早く訪れて欲しいですが）も必要に応じて継続して欲しいと思います。自分自身の音楽活動に関しても、対外的には減っているのですが、自分自身と向かい合う時期という意味ではむしろ充実しています。一人一人の表現者が自分自身に時間をかけて向き合い、客観的に認識して、アナログ・デジタル両面からの発信の仕方を工夫していくべき時期に来ていると思います。コロナ禍とSNS、配信テクノロジーの発達などが、表現に関する人間関係の変化のスピードに拍車をかけているように感じています。なかなか成果に結びつきにくい点も多いですが、今までの自分の活動を無駄にせず、変化に順応していく手段を探していくしかないですね。（40代/別に本業あり/音楽）
- ・民間の芸能団体と行政の連携・対話を今以上に深めたい。行政から求められている「社会的効果」を、官民の連携ありきで動く事で効率よく達成する環境をつくりたい。また、国立劇場おきなわの広報誌「華風」が廃止になりかけた事は不安。コロナ禍において劇場公演が中止になり、配信へ移行しているなか、国立劇場おきなわの宣伝広報・記録の中心を担っている「華風」は一番力を入れるべきだと思っている。（20代/副業あり/沖縄音楽）
- ・このような有事において文化活動は一番先に影響を受けるのは仕方ない気もしますが、このようにコロナ禍が長く続くとさすがに生活が困窮します。行政の支援がもっと簡単に受けられる事を希望致します。（70代/専業/音楽）
- ・「芸能の島沖縄」と言われているのに、芸能に関する補助が沖縄には全然ないことにショックを受けてます。素晴らしい唄者が後輩にもたくさんいるのに、生活ができないため、コロナ禍前でも別の仕事をし、芸能から遠ざかる人がいました。コロナ禍になり、そういう人がもっと増えていったことにやりきれない気持ちです。沖縄の芸能を継続するにも個人では難しい人がたくさんいるので、少しでも私も協力して続けていけるようにフォローしていきたいと思います。もちろん、これまでの歴史や音楽を築き上げてきた、素晴らしい尊敬する先輩方はたくさんいます。ですが、今後の沖縄の芸能をみるとやはり、素晴らしい方々が後輩にもたくさんいる中で、だいたい決まって同じ方しか注目されていないのも、これからの沖縄の芸能においては心配です。私自身、後輩のアーティストをそれぞれ協力したり繋いでいけるように、若手アーティストの交流会を定期的に行っています。いつかまた沖縄の若手の時代に華開くことを願っています。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・クラシックの分野にも補助金を。（50代/副業あり/音楽）
- ・休業した飲食店には支援金が出るが、そこに継続的に出演しているパフォーマーに支援は無かった（今になってようやく一時支援金・月次支援金が出てきたが）。時短営業は無意味、徹底した人数制限にするべきだった。空いている時間に客が集中しごった返し、また時短無視の店に客が集中し激混みする現象が起きていた。国や県は本当に現状に沿った対応策は打っていないと感じる。（30代/副業あり/音楽）
- ・劇場の収容人数の制限により採算が見込めず、公演等の企画が難しい。特に個人の独演会などは壊滅的。会場費などの経費に対する補助金があると、コロナ対策を図りながら文化活動を積

極的に進めることが出来ると思う。オンライン配信もよいが、観客や演者にとっても生の舞台に勝るものはない。(30代/副業あり/沖縄音楽)

- ・美術館や映画館は閉めるべきではない。元来、芸術鑑賞は作品と静かに対峙して鑑賞するものだし、広い空間であることが多い。鑑賞自体に問題はなく、その後の飲食空間の対策を徹底すべき。東京でも美術館は予約制にしたり、工夫を凝らして開館している。努力や議論もなく即座に行政の意向で、担当学芸員や作者との話し合いもなく閉めるのは、やり方としてよくない。文化芸術はこのような時代にこそ、人々を精神的に支える役割があり、簡単に閉じるべきではない。このコロナ禍における人々の心の支えやケアを含めて、継承すべき文化や歴史を持続できるように、文化芸術専門家とともに議論し対応すべきだ。(40代/専業/アート)
- ・店舗やホテルには保証給付があっても、そこへ出演してたパフォーマーまでお金が分配されない事に不備を感じます。報酬が無くても、日々の技術維持(練習)も労働にカウントしてほしいものです。法人優先の救済に苛立ちます。(60代/専業/音楽)
- ・文化芸能活動が生活において不必要とされていくことが不安です。(50代/副業あり/音楽)
- ・国のサポートばかりではなく、沖縄県のサポートがほしい。沖縄県には国ばかりに頼って欲しくない、自主的なサポートをお願いしたい。芸能の島とうたっているのならば、ちゃんとサポートしてほしい。いい時ばかり、芸能の島と言い、こういう事態で助けを出さないのは、都合が良すぎる。(30代/専業/舞台)
- ・民謡居酒屋などで歌っている子達のサポート演奏をしてきましたが、その子達の経済面とメンタル面が立ち直れるか心配です。(50代/専業/沖縄音楽)
- ・ドイツのように文化活動、若しくはそれを支える仕事の重要性をジャンル関係なく、平等に補助してほしい。(60代/専業/音楽)
- ・難しい手続きなどは抜きにして、活動している方々に一律で、ある程度の給付金は支給されて良いと思います。(50代/専業/音楽)
- ・今後どのようになっていくか分かりませんが、現時点では客席数(チケット販売数)に制限があるのに対し、舞台使用料・その他設備使用料が正規の値段だと運営側は厳しいです。そこに補助金が充てられると嬉しい。(30代/専業/舞台)
- ・観客数の制限など、小劇場には厳しい。また、感染への不安から企画する人間が減ってしまった。元通りになる保証もない。(40代/別に本業あり/舞台)
- ・これといって期待していることはない。(30代/別に本業あり/舞台)
- ・せめて公演用の感染対策への補助金を簡単な手続きで受けられるようにしてほしいです。観客数を通常の半分にするとなると、公演回数を増やさないと収益がマイナスになってしまうので。(40代/別に本業あり/舞台)

- ・これからの仕事がコロナ以前のように戻る保証がない不安。飲食店のよう、各業種も経済的にもっと支援してもらえたらと思う。(40代/専業/舞台)
- ・沖縄では余興としてのパフォーマンスやホテルなどのBGM的な演奏家が主ですが、やはり生活の為にはしようがないです。しかし、もっとオリジナルを発表する為には、勿論審査は必要ですが、サポートが必要かと思います。(60代/専業/音楽)
- ・一時期、ホールの利用に対してコロナ減免制度があったが、今は行われていない。依然、観客数を半数に減らすならば、減免であっても良いのではないか。また、観客数を数組に絞って舞台上で鑑賞してもらうような利用方法の場合は、舞台のみの利用料金という設定があってもよいのではないか。県外では多くのホールが舞台のみの利用料金設定があり、リハーサルなどに利用している。また、スタインウェイピアノは演奏されないと劣化していく為、今県内のホールに置かれたピアノは酷く価値が下がっている(つい先日も、青サビが出てきているスタインウェイを見た)。リハーサル利用でピアノを稼働させる事も、ピアノを長く生きさせるため必要な事だと思う。また、それを望むアーティスト、県内のピアノ愛好家は多いと感じる。(40代/副業あり/音楽)
- ・演劇の映像配信を二度ほどやりましたが、あまり手応えを感じられず悪戦苦闘。舞台に特化して活動していた分、今後の状況次第ではメンバーのモチベーションも下がると思う。不安になります。新しい演劇の使い方を一緒に考える場があれば嬉しいです。(40代/副業あり/舞台)
- ・去年の4月からライブができなくなり、ずっと収入がゼロです。今はお金を借りて生計を立てております。このままだと沖縄芸能が減んでしまわないか心配です。どうか援助金が出ないかと思ひます。(40代/専業/沖縄音楽)
- ・芸能活動を生計の主に行っている方に対する支えがあるといい。(40代/別に本業あり/音楽)
- ・この先コロナ禍の前みたいな世の中に戻るのか、人を集めて行える舞台ができるのか、自分の歌が必要とされるのかと不安な日々です。またいつの日か、多くのお客様の前で笑顔を見ながら歌が歌える日が来る事を切に願っています。この様なアンケートしてくださりありがとうございます。心の中の不安を書く事ができ、自分を見つめ直してまた新たに頑張る気持ちになりました。(40代/専業/沖縄音楽)
- ・ハコの方々が生き残れるよう、演者の可能性が広がるようなサポートが頂ければ。(40代/副業あり/音楽)
- ・表方・裏方・スタッフ等の離職・転職による損失、コロナ後の社会的回復のスピードの速度等、心配事はキリがありません。(50代/専業/舞台)
- ・国の文化芸術活動への対応が不満。(50代/専業/舞台)

- ・東京では緊急事態宣言下でも、飲食を伴わない演奏会は規模によっては観客数100%で開催できているが、沖縄では内容に関わらず、すべてのイベントにおいて開催事態が自粛の対象となっていることに疑問を感じている。(50代/専業/沖縄音楽・音楽)
- ・2020年の活動を通し、感染症対策さえしっかりしていれば演奏会を開いても良いという自信が ついた。(40代/専業/音楽)
- ・コロナが収束したら、以前のように演奏の仕事依頼がどれだけ戻るのか不安である。動画配信 ライブを行うにしても、もっと補助金制度や給付金を頂かないと、活動を継続していくにはか なり厳しい状況です。(30代/専業/音楽)
- ・地域の伝統行事がなくなる事で、お稽古として習ってる子達の舞台がなくなり、やる気を出さ せる事が困難になりつつある。(30代/別に本業あり/沖縄芸能)
- ・昨年はそれ以前の収入(貯金)や持続化給付金で乗りこえられたけれど、今年は昨年より経済 的にかなり厳しい。一度限りではなく持続化給付金のような支援を行って欲しい。世の中には 「芸術は生活する為に必須ではない、生活にゆとりがある人が楽しむものだ」と言う人もいる けれど、他の職種と同様に、これを仕事としている人がいるという事を理解してほしい。どん な仕事であっても、人が生活するうえで不必要な仕事はないと思う。(40代/専業/音楽)
- ・ずっとこのような状況が続くと思うと不安。表で活動する方、裏で舞台を支える音響さんなど、 両方あってひとつの公演が成り立つので、一律した給付など、イベント舞台も行きやすい補助 金制度が増えたらいいなと思います。(30代/専業/沖縄音楽)

●パフォーマー(県外在住)

- ・早く自由に芸能活動が再開出来ることが大事ですが、以前と同じようにというわけにはいかな いのではないかと危惧しています。(50代/専業/沖縄音楽)
- ・個人的なこととなりますが、去年は気持ち的にどん底に落ちて、SNSでの配信はライブの中止だっ たり延期ばかりで配信からも遠ざかったのです。だけど11月に東京のライブハウスで人数限定・ 有料配信して、自分には音楽・うた・エンタテインメント・お客様の存在がいかに必要かとい うことを痛感しました。だけど今年に入り、コロナの正体も見えてきてワクチンなども出てき たのだが、過剰な期待はしていなくて、「我々が愛した日常・ライブにおける祭りのような密 になっての一体感」は戻ることはない(また他のウイルスだけでなく、いろいろなことが出 てくることも含めて)と思っています。

なので沖縄だけの問題でなく、すべての文化・エンタテインメントに関わる人たちの自分も 含めて、意識改革が必要な段階になってきたように思います。国や行政は祭りやイベント、人の 集まるイベントはリスクを考えてとにかく中止しようとする方向です。オリンピックは強行しよ うとしているのに(個人的にはベストを尽くして対策すれば行って欲しいと思いますが)、と にかく歌や踊りや笑いなどエンタテインメントがあったからこそ、この南西諸島は「心だけは 沈まずに何とか乗り越えてこれたのに」と思います。うたがなければこの島は沈没しますよ。

なのでこれからは、エンタテインメントに関わる皆さんとの団結・知性・アイデアが必要になってくるように思います。そこには「志・ココロザシ」が必要です。島のアイデンティティである「おもてなし」はすでにありますよね。来年は沖縄返還50周年なので、南西諸島ですべての島と交流できるイベントをやりたいです。NHKで朝ドラ「チムドンドン」がやるのはわかっています。そこに紅白歌合戦で主題歌を歌うアーティストが歌うだけで「沖縄返還50周年」を終わらせてはならないのではないですか？ 沖縄のアーティストが、沖縄好きの皆様が「紅白歌合戦」を乗っ取る覚悟でやりたいんです！

話があっちこっち飛躍しましたが、情熱しかない、歌うことしかできない、表現することしか能が無いアーティストに力をください。そしてそれを実現するだけの英知を集結しましょうよ。シマの悪いところは、すぐ「アイツとは違うから」なんていうところです。我々は、自分さえ良ければという利己的な集まりではなく、島を思う同志です。理想論と笑われるだけかもしれませんが、エンタテインメントをなんでも無料というお客さんの意識を変えさせる必要がある。インスタ・祭り・ビアフェス・居酒屋ライブ・配信でも基本、有料のお客さんと無料のお客さんを分ける。人数制限や密の回避・コロナ対策にもなりますし、酔っ払ってただ騒ぎたいだけの、音楽に興味のない人たちにまでサービスする必要はありません。

ここ20年、ビアフェスや那覇ハーリーでも沖縄のビッグネームのミュージシャンでさえお客さんの意識は「タダで観れるから本人たちの有料のライブにはいかない」なんて平気で言う人々がいました。素人のカラオケならいくらでもただでやっていいのですが、個人で練習・スタジオ代も払ってサポートの人にもギャラを払うような熟練のプロが安く使われているのはやはり「音楽はタダ・民謡はタダ」という我々サイドにも問題があると考えています。行政もイベントはやるけど「これは学校の子供達の為だからノーギャラで」という方までいます。

長くなりましたが自分は怒ってるわけではなく、冷静にエンタテインメントの将来を憂えています。このままでは「進撃の巨人」と同じく壁に囲まれた状態でニヤニヤしてエンタテインメントは滅亡しますよ。我々の先人が培った文化を失くさない為にもできることを考えたいと思います。自分自身は過激なことをやりたいわけでもありません。少し言葉がきつく感じられたならお許しください。エンタテインメントが仕事になって、そこにちゃんとした収入があり、それに刺激を受けた子供たちの中からまた世の中を変えるほどの天才が生まれて、つないでいてほしいと切に願います。(50代/副業あり/音楽)

- ・創作・表現活動は今まで通り地道に積み上げて行くしかないのかも知れませんが。コロナ禍で文化芸能表現の場が狭まった人たちを集め、沖縄に限らず、各地方のテレビ局が有名無名に関わらず出演の機会を増やしてくれるような番組を開発したらとても素敵なのに、実際はどこにも見当たりませんよね。文化芸術芸能関係者へのサポート方法のセンスが問われていると思います。行政が大金を注ぎ込んでロックコンサートのライブ配信をやったら超カッコイイ！（ロックに限らず古典芸能でも）(60代/別に本業あり/音楽・アート)
- ・文化芸能は一人で完成するものではない。連携が取れないとことによりパフォーマンスの低下につながらないか心配している。税金面で減税など、支出が減らせる政策もお願いしたい。(40代/専業/沖縄音楽)
- ・「ライブハウスが…」から始まったコロナ事情。ライブハウスだけじゃないのに。県外で沖縄の芸能を披露する場所が影響を受けて閉店してしまわないか、それが一番の気がかりです。たくさん良い場所がありますから。篋柄暦様に関しても、これだけの大労務会社にも関わらず、本当

に苦労されてるだろうとお察し致します。絶対に残して行かなければならないと思います。（40代/専業/沖縄音楽・音楽）

- ・ 演者として沖縄と内地を行き来できることが普通に当たり前であった頃がまたホントに戻ってくるのか不安です。補助金に頼るばかりではなく、我々は経済的に環境に適応できる力を身につけなければいけません。とはいえ、現実問題としてコロナ禍は例のない事態です。個人の力ではどうすることも出来ません！ 行政、政府に対してはもっと声をあげてゆかなければいけないと思います。この様な機関、団体には迅速な対応を期待し強く希望します。（50代/副業あり/音楽）
- ・ コロナ禍で三線教室の生徒さんも激減、文化を大和に広げようにもコロナウイルスの影響が大きく、先が不安ばかりです。補償も援助もないこの仕事に魅力さえ失ってます。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・ 配信ライブという新たな形を活動のデフォルトの中に加えざるを得ない状況となり、期せずして活動の幅がひとつ広がったとも考えることはできますが、やはり生ものの音楽を届けられる状況が一日も早く整って欲しいです。またコロナ禍以前からさんざんお世話になってきた沖縄料理店やその他のライブつき飲食店さんが、コロナによる経営難で苦しんでいるのを見るのは辛いですし、やむなく閉店されたところもあるので、充分で公平な支援をしていただきたいと願っています。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・ 県外在住のため、沖縄の状況が分かりません。以前は那覇へ通って演奏していた案件もありましたが、すっかり沖縄が遠くなってしまい寂しいです。（30代/専業/沖縄音楽）
- ・ 沖縄料理屋や食材卸売お酒卸売の方々を救ってほしい。（50代/専業/沖縄音楽）
- ・ 沖縄料理店を主に活動していた人はほぼ収入の入る当てがなくなってしまっていると思う。1年以上仕事がない中、いざコロナが落ちついたとき、再開する気力があるか不安に思う。できればイベントなどいろんなアーティストが参加できる再開の機会を作ってほしいです。（40代/副業あり/沖縄音楽）
- ・ 民謡研究所を開設していますが、公演の計画があっても全員で合わせ稽古をするのができないのと、コロナ自粛理由で門下生の中で稽古に来ない者が多くなり、モチベーションが下がってしまったのが不安です。（50代/別に本業あり/沖縄音楽）
- ・ コロナが収束しても、以前のように戻るには何年もかかりそう。（50代/副業あり/音楽）
- ・ 沖縄県外の人間ですが、沖縄でのライブや単に旅行が再開出来る事を心から望んでます。それだけに沖縄のコロナ感染が気がかりでなりません。（50代/専業/音楽・沖縄音楽）
- ・ 文化芸術は不要不急ではないと思う。社会の価値観が変わることを願います。前向きな対策、補助がないことが不安。（40代/専業/音楽）

- ・世界中の音楽がどんどん似たような方向に向かっているように感じます。そうした風潮に流されずに、沖縄音楽の独自性をもっと大切にしていきたいと願っています。自分は洋楽器の演奏者ですが、今年、海外のサイトに「沖縄音楽の表現者」として掲載いただきました。「どんな楽器で弾くのか？」よりも「どんな音楽なのか？」をより重視したいと考えています。具体例を挙げるならば、「三線で洋楽を演奏する」ことよりも「海外の方が自分たちの楽器で沖縄音楽をやりたい」と思ってもらえるようにするのが目標です。実現へのご支援を期待します。(40代/専業/音楽)
- ・飲食店などに比べて、文化芸能活動に対する経済的支援が圧倒的に少なすぎる。(50代/専業/沖縄音楽・音楽)
- ・会館を予約しても急に閉館などで予定が立てられないので困ります。収容人数の規制があるのに会館の使用料金が変わらないから困ります。料金設定も変えてほしい。(40代/別に本業あり/音楽)
- ・沖縄から県外への移動が厳しくなり、本籍地に帰還しました。(40代/副業あり/音楽)
- ・コロナがおさまったら、また沖縄でのワークショップや演奏活動も積極的に展開したいと思っています。(50代/専業/伝統芸能)
- ・飲食店が潰れたら活動する場所を失う。(50代/副業あり/沖縄音楽)
- ・現在の状況でも開催され、成功しているステージの情報を広く公開し「with コロナ」のイメージを浸透させていただきたい。(50代/別に本業あり/沖縄音楽・音楽)
- ・生徒減による講師料減、ライブイベントの激減による収入減。(50代/副業あり/沖縄音楽)

●スタッフ

- ・飲食店のように休業補償してほしい。(40代/専業/企画・演出/沖縄)
- ・同様なジャンルを生業にしている人達にとっては死活問題なので、助成金や給付金が有ると非常に良いと思います。(50代/専業/音響/沖縄)

1) 新しい分野への進出の仲介：例えば、介護施設や保育施設でのライブビューイングなどは需要があると思います。新しい分野と、イベントに携わる人々が繋がっていくことで、イベントに携わる者として、社会へ貢献できるようになることを期待します。

2) イベント参加リスクの周知・感染者が出た場合のワークフローの共有：イベントで感染者が出た場合、イベンター・施設スタッフ・アーティストのだれが責任をもってその後の対処を進めていくべきかというところが曖昧です。また、その後の対応も個々に任されており、結果としてイベント産業全体への懸念に繋がっているとも感じます。共通のワークフローなどを明示して下されば、「感染者が出たしまった」という初めての事態に戸惑うことなく、粛々と対処できるのではないのでしょうか。ワークフローがイベント開催の仕組みとして、イベント開催側・参加者

に認知されてゆけば、特定の個人を責めたり、風評被害になったりというところが多少は払拭されると考えます。

3) 新しい技術やシステムの導入：コロナ以前よりもイベントに親しむ人が増え、イベント自体が快適になるような仕組み・システムを求めます。デザインや視覚的効果を使用し、観客を誘導するなど、コロナ禍により「声をださずに人々を動かす」努力がなされてきていると感じます。このような施策は、聴覚障害を持つ方々や、お年寄りにとっても非常にやさしい仕組みだと感じます。

繰り返しになりますが、単発での金銭的援助も有難いのですが、イベントスタッフとしてはイベント開催をした場合の継続的なサポートや、イベント開催のリスクの周知、その後の対処法の周知を求めます。（20代/別に本業あり/企画・広報/沖縄）

- ・これだけ長くこの状況が続くと、どんどんやる気が削がれて、コロナが収束しても以前のようにイベントなどの文化芸能活動をやる気力が戻るか、自信がないです。（40代/副業あり/企画・制作・広報・マネジメント/沖縄）
- ・アンケートのタイトルは、できれば「文化芸能関連」ではなく「芸術文化関連」という表記にしていきたいです。沖縄独特な現状形態の問題の現れに感じていますが、英語で「Arts & culture」と言うように、文化芸能を訳すと国際的な意味として通用しません。また団体に属さない個人が多い美術や現代アートに携わる人たちの声を拾い上げるのも大切だと思います。意識的なところから変えないと、行政には言葉の意味が通じないと感じています。また長期的なビジョンを持った政策を示して欲しいです。過去5年にかけて、県の担当者が3年以下又は1年以内に変わる事が多く、継続した活動を続けることが困難な状況にあります。（40代/専業/企画・広報・マネジメント/沖縄）
- ・とにかく先が見えません。（50代/副業あり/音響・スタジオ経営/沖縄）
- ・そもそもコロナ禍以前から、文化芸能に対する関心が一般的に言って低いので、コロナ禍によって喪失した経済的・表現のクオリティ的な高さは、文化芸能の社会的下支えの弱まりと相関して、さらなるマイナス傾向に向かうと思われる。行政や民間含む社会一般にとって、文化芸能がいかに我々の健全な生活にとって重要なのか、その啓蒙活動と、それを可能にする経済的支援が必要になるとと思われる。（40代/副業あり/教育・研究/沖縄）
- ・より積極的にスピード感のあるワクチン接種の強力な推進を、全国一を目指して進めてもらいたい。（40代/副業あり/グッズ制作/沖縄）
- ・緊急事態宣言が7月11日まで延長され、新聞の記事には「最後のがまん」と書かれていましたが、疑問です。これから沖縄はオンシーズンですし、また渡航者が増え、感染者が増えたら、緊急事態宣言が発令される可能性が高く、いったいいつまで続くのだろうという不安があります。あと、団体への支援はあるが、個人の支援が少ない。飲食店への協力金はあるが、イベントを中止にしても、緊急事態宣言下でも航空券キャンセルほぼ全額支払うはめになったり、ホテルのキャンセル料などが免除にはならなかった不満もあります。結論は「オリンピックはやるんですよね？」という感じです…。（40代/別に本業あり/企画/沖縄）

- ・あっという間に1年以上が過ぎました。いろんな事が浮き彫りになり、日本は文化、芸術への認識が薄いんだなと改めて感じました。ですので「お金を払うからイベントをしてくれ」という事に違和感を感じています。世間がずっと騒いでいるので、当面厳しい状況が続くと思います。イベントへの補助よりも、今は個人で経営する方にお金が行き渡ることを望みます。あとは、配信。ネット社会が大きくなって、今後新たなオーディエンスに会場に来て貰えるように、どう道筋を作っていくかが課題だと思います。(30代/専業/企画・音響/沖縄)
- ・イベント会場に、無料で使えるオンライン配信環境を整備してほしい。(40代/専業/企画・マネジメント/沖縄)
- ・手続きが簡単で公平で迅速な現金支給・生活補償制度をお願いします。(50代/別に本業あり/企画/沖縄)
- ・以前まで会社に所属して舞台照明をしていましたが、このコロナ禍で仕事が激減、所得も減り始めたので退社し、別の仕事もしながら個人で活動を始めました。徐々に頂けるお仕事も少しながら増えてきたと思った矢先に蔓延防止、緊急事態となり、仕事が無い状況に。昨年、一昨年の個人事業としての申告実績が無いため、各種補助金・支援金などの申請も諦めています。早く各種イベント、催事など再開できる環境作りを行政に期待します。(40代/専業/照明/沖縄)
- ・コロナによる影響で、舞台スタッフが別の仕事についたり、所属していた会社を辞めたりしています。コロナが収束した後に優秀なスタッフが残っているのか心配しています。コロナ渦を乗り切る為の支援が必要だと思います。(50代/専業/企画・制作・演出・マネジメント/沖縄)
- ・当初は不安も不満も要求もたくさんありました。この1年あまりに色んな物を失いました。今は只1日も早く安心と安全を取り戻していくこと、それが一番の期待です。マスクを着用した人々の表情や感情を読み取ることは出来ませんが、優しい目の表情の奥に不安を抱えた人々の顔を見ると、常毒液の臭いよりも風の臭いや、あたりまえに触れ合えたぬくもり、みんなの声が聞きたい、そんな日常の社会に戻るにはどうすれば良いのか。国や行政に不満を持つだけでは何も変えることは出来ない。大人達が子供達を皆で育てられる社会を忘れてしまっている。自分も含め大人達があの日を思い出して手を取り合って行ければきっと、きっと…頑張らしましょう。(50代/専業/企画・音響・制作・広報/沖縄)
- ・支援だけでは限界がくる。それぞれ自力をどう高めていけるかが必要な事だと思う。支援は大切ですが、支援の在り方は教育や成長に繋がるデザイン設計にしなければ、意味がない気がします。(30代/別に本業あり/企画・広報/沖縄)
- ・文化芸能を守り育て、発展させていくという視野で考えてほしい。(30代/専業/制作・広報/沖縄)
- ・文化芸能関連の場所やスタッフにも、よりよい補助をして欲しい。(50代/副業あり/企画・音響・制作・演出/沖縄)

- ・今後行政に期待することは、1) 芸能関係の独自給付金、2) ホールや公共施設等の使用料・付帯設備使用料などの減免や、配信用の光回線を使用できるようにする、3) 公演等の助成金制度を増やす。コロナ禍が収束しても元の生活には戻らないと考えます。今後はそのことを想定して活動していく新たな時代になりそうですね。（50代/副業あり/企画・制作・広報・マネジメント/沖縄）
- ・出演者やスタッフの情熱やスキル、観客との信頼関係、どれ一つ欠けても良い舞台公演はできません。長い時間をかけて培ってきたものが失われてしまうと、再び立ち上がるためにどのくらいの時間がかかるのか想像もつきません。コロナ禍で、文化が不要不急のものとして扱われてきたことが悔しいですが、どんな時代も文化を手放さなかった先人に習い、できることをひとつづつやってきたいと思います。行政にはまず現状をしっかりと欲しい、そして一緒に考えていきたいです。（40代/副業あり/企画・制作・演出/沖縄）
- ・ワクチン接種が加速することを期待しています。（40代/副業あり/企画・音響・制作・マネジメント/県外）
- ・文化発信の継続を是非支援してください。（50代/専業/制作/県外）
- ・パフォーマーの活動する場が殆ど無いことをとても残念に思い、その生活や将来について不安に感じています。コロナ禍の影響が続くならば、相当の助成金の必要があるのではと思います。（60代/別に本業あり/企画・マネジメント/沖縄）
- ・ウェディングは少し回復してきたものの、壊滅的な減少具合なので、是非考慮してもらえれば助かります。（40代/副業あり/音響・制作/沖縄）
- ・文化的な活動への支援を充実してもらいたい。（50代/専業/広報/沖縄）
- ・沖芸連や舞台運営事業者組合などに所属しており、県などにも経済支援をお願いしているが、もっと多くの団体からより一層の請願をお願いしたい。（60代/副業あり/企画・制作・音響・照明/沖縄）
- ・沖縄島唄の野外イベントを主催していますが、2020年、2021年と開催出来ずにいます。来場者に制限をかけ、ステージ→オーディエンスの一方通行のイベントとしてなら開催も可能かと思いますが、ステージと客席が一体となって楽しめてこそその島唄イベントだと思っています（宴会モードあり、カチャーシもあり）。ソーシャルディスタンスだとか大声を出さないとか、そういう状態が新しいスタンダードとされてしまうことを何より危惧しています。（60代/副業あり/企画・制作・音響・照明/県外）
- ・県も貯金が減っているので、あまり注文は出来ませんが、飲食業を工夫して再開することが、コロナ禍でも乗り越えられるポイントだと思う。その為の設備投資は補助金を出して欲しい。最近で言えば、光触媒体でコロナ殺菌など。（40代/専業/企画・絲(笑)作・広報/沖縄）

- ・コロナ禍でも安心してイベントができる環境づくりが必要。（20代/別に本業あり/企画・広報/沖縄）
- ・事業を行って行く意思がある人にはお金を配りまくり、後から回収していくロジックを徹底的に行わないと危険。（50代/副業あり/企画・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・社員を守るため、雇用調整金はもちろん利用していますが、会社事務経費は全くないし、さらに会社負担の社会保険等もかなり負担なので、考慮してほしいです。会社がつぶれば、社員も地域芸能も音楽タレントも守れません。会社も新しい試み挑戦は致しますので、しっかりと支えてほしいです。（60代/副業あり/企画・制作・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・1年以上時短自粛などが続いているため、なかなかイベント開催ができない。（40代/副業あり/企画・マネジメント/沖縄）
- ・感染対策が中途半端なため、悪循環でグラグラと1年3か月もコロナ禍が続き、その間は借金が増えていくだけ。どっちつかずの対応は止めてガッツリ対策してください。2か月ほど全ての経済活動を止めていけば収まっていたのではと思っています。ただ、今ではもう遅いので、ワクチン接種に全力を注いでください。もうワクチンしか対応策は無いと考えています。（40代/専業/企画・制作・演出・広報・マネジメント/沖縄）
- ・文化芸能の力はなくてはならないものです。こと、沖縄においては日本の中でも文化芸能に秀でた地域だと思えます。文化芸能をなくしてしまえば、沖縄の価値は半減するでしょう。守ることに積極的になるべきです。観光経済としてもそこに頼ってきたはずで。文化芸能を続けてきた人たちの努力や才能や時間にあぐらをかいてきたことを省みなければいけないと思います。行政はもちろんですが、県民もそこを改めて考えるべきでは。周りにあふれていた文化芸能は、簡単にそこにあるものではないのですから。（40代/専業/企画・制作・演出/沖縄）
- ・大人数での集客に際してのコロナ対策に係る費用補助や、配信に係る機材購入等の補助があると取り組みやすい。（30代/別に本業あり/企画/沖縄）

●イベント施設

- ・コロナは明ける。ただ、明けた時また同じ次元に戻ってしまうのではいささか情けない。新しい地平が開けてくるよう議論を進めたい。（60代/公共ホール代表/沖縄）
- ・飲食店として現在は協力金などでどうにか維持できて感謝してありますが、関連業者への協力金等も支援して欲しい。コロナ禍後のイベント集客が心配。（50代/ライブハウス経営/沖縄）
- ・完全予約制で人数もきちんと管理し、コロナ対策を万全にしている店や施設は夜10時、11時までの営業をさせて欲しい。営業時間の一律短縮は真面目にやっている店が損な印象。（60代/飲食店経営/沖縄）
- ・生活を保障する現金の迅速、簡潔、公平な支給。（50代/飲食店経営/沖縄）

- ・飲食店のみ優遇される補助金を、イベント施設運営にも検討してほしい。(40代/ライブハウス代表/沖縄)
- ・せめて家賃補助をお願いしたい。また、雇用調整助成金の適応がない役員報酬の補助をお願いしたい。(40代/ライブハウス経営/沖縄)
- ・ライブハウスが叩かれ、飲食店が叩かれ、緊急事態宣言や時短営業が解除されてはまた発出…と左右されすぎて、いささか疲れしました。どうせまた…という気持ちもあります。モチベーションを取り戻すのがシンドイですね。とは言え、たくさんの方に応援して頂いて何とか存続できているので、もはや自分の意思だけで「やーめた」とも言えないところまで来たと思っています。なんでまだまだ頑張りますよ！(40代/飲食店経営/県外)
- ・いままでのやり方では難しいのではないかと感じていますが、具体的な方法を考えあぐねています。その時にあったやり方をいち早くできるように、準備をしたいと思っています。(50代/飲食店経営/沖縄)
- ・飲食店やライブハウスなどお酒を提供する店舗への偏見をなくして、文化芸術に関わる方々への多くの支援、補助をしてもらえたらと思う。(50代/ライブハウス経営/沖縄)
- ・活動の場が失われたアーティストの支援を目一杯お願いしたいです。(40代/イベントスペースのある店舗代表/沖縄)
- ・コロナ禍にイベントができないのは仕方ないと思います。店はいろいろ支援を受けているので助かっております。フリーのジャズミュージシャンなどを見ていると大変そうに思えます。(50代/ライブハウス経営/沖縄)
- ・芸術活動を継続するため、劇場運営(指定管理者を含む)や実演家に対する支援が継続的に行われるよう希望します。(30代/公共ホールスタッフ/沖縄)
- ・日本の行政について、慎重であるのは良い面だと思っていますが、その結果、決断が遅く、手続きも時間がかかりすべてが遅くなる、という悪循環が生じることも多々あります。今回のコロナ対策は、リアルにそれを実感しました。結果的にこれが良かったのか悪かったのかどうかは時間が経たないとわかりませんが。ただ行政の担当の方々は、初めての対応ばかりでそうとう頑張っておられます。また身内が医療関係なので、その厳しさも目の当たりにすると、立場それぞれ、大変で難しい…と感じる毎日です。(40代/博物館スタッフ/県外)
- ・当劇場は比較的規模が小さい劇場になるため、主催者がコロナのガイドライン等を遵守して運営していただければ、イベントは開催可能ですが、クラスター発生のリスクがあるため、開催については慎重になる主催者が多くいらっしゃいます。イベントが減ると劇場の収入も減ってしまいます。劇場側としてはイベントはしていただきたいが、コロナ感染者が発生したときの劇場への打撃、主催者・その他イベントの主催者への打撃・負担もあり、苦慮するところではあ

ります。ワクチン接種等が進み、劇場のソーシャルディスタンスを気にせず、お客様に入場していただける日が1日でも早くきてほしいと願うばかりです。（40代/公共ホールスタッフ/沖縄）

- ・観光施設ではまだオンライン商品が浸透していないため、今後他施設でも導入して頂き、全体で面としてオンラインでの沖縄観光をすることで利用促進に繋がりたい。オンラインで沖縄を体験することで、「次はリアルでも沖縄を体感したい！」と思ってくれるお客様は結構多いです。（30代/観光施設スタッフ/沖縄）
- ・コロナ禍になり、事業継続の為に補助金・基金がありますが、少人数で動く場合、一番の負担は事業報告書作成業務です、専門の方を雇用できる予算を認めていただきたい。私は経験はないのですが、補助金の仕組みとして、売上を立てると補助金額が減額になることを良く耳にします。なので売上を上げない方向へ流れますと、いつまでも補助金頼みとなり、自立への道を途絶えさせる事になるのではと常々思います（既に改善されておりましたら申し訳ございません）。（50代/ギャラリー経営/沖縄）
- ・緊急事態宣言を解除してほしい。（50代/飲食店経営/沖縄）
- ・休業要請、時短営業要請、酒類提供禁止、感染対策義務化等、いろいろ収益悪化の施策を要請されているが、損害の補償は無く、協力金は足りず、「お金が足りません」と言う「借金してください」と言われる始末。「職業選択の自由＝営業の自由」が束縛されているにも関わらず、損害補償はされないという理不尽を我々は受け入れています。何とかしてください。（40代/飲食店経営/沖縄）
- ・イベントスタッフや、イベント出演者の依頼費、その他イベントに必要な機材の購入（音響や照明）費をまかなえる助成金があれば利用したいと思う。（20代/イベントスペースのある店舗代表/沖縄）
- ・沖縄県のみ、全てのイベント中止の要請なのがとても苦しいです。（40代/飲食店経営/沖縄）
- ・きちんと対策を講じているホールで、ルールを守っている観客がコロナに感染するという事例はまだ報告されておらず、必要以上に自粛ムードが広がっているのではと感じています。これはコロナの影響が長引いて、なんとなく「文化芸術の鑑賞は控えよう」という世論が醸成されていることの表れであり、芸能関係者やその周辺で活動している方々にとっては非常に憂慮すべき事態です。ホールの収容人員が1/2になって、「客席を広々使えて快適だった」とおっしゃる方や、「オンラインで鑑賞すれば安心してみられる」という方が増え始めており、すこし違う方向に進んでいってしまっている気がしてなりません。元通りに満席の会場で公演を実施できる日が来るのでしょうか？（40代/公共ホール代表/沖縄）

■お問合せ先

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク・篋柄暦編集室
担当：萩野（はぎの） 090-6857-7800 info@oein.jp